

第七十四回帝國議會
衆議院

朝鮮事業公債法中改正法律案委員會會議錄(速記)第六回

會議

昭和十四年二月十六日(木曜日)午後二時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 菊池 良一君

理事岡野 龍一君 理事田中 好君

理事森下 國雄君 理事守屋 榮夫君

理事葉梨新五郎君

栗山 博君 木村 正義君

川崎末五郎君 成島 勇君

内藤 守正君 朴 春 琴君

高田 松平君 石坂 繁君

鈴木 文治君 松岡 俊三君

須永 好君 松山常次郎君

小田 榮君 沖島 鎌三君

二月十五日委員松尾三藏君辭任ニ付其ノ補

闕トシテ成島勇君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月十六日委員高岡大輔君辭任ニ付其ノ補

闕トシテ石坂繁君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣兼拓務大臣 八田 嘉明君

出席政府委員左ノ如シ

大藏參與官 矢野庄太郎君

大藏書記官 植木庚子郎君

拓務政務次官 寺田 市正君

拓務參與官 江藤源九郎君

拓務省殖産局長 植場 鐵三君

拓務省拓務局長 安井誠一郎君

朝鮮總督府政務總監 大野綠一郎君

朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

朝鮮總督府鐵道局長 工藤 義男君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)

朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出)

提出)

朝鮮鐵道株式會社所屬金泉慶北安東間鐵

道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政

府提出)

○菊池委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、前會ニ引續イテ質疑ヲ許可致シマス

○松山委員 是ハ何時ノ時代ニモアルコト

デアリマスルガ、裏切者變節漢ト云フ者ガ

隨分アツテ、其ノ者ガ官憲ヲ背景ニシテ隨

分横暴ラスルト云フヤウナコトガ、私ハ朝

鮮ノ今日ニ於テモアルヤウニ思フ、其ノ事

ガ非常ニ朝鮮人ノ感情ヲ刺戟シ、又朝鮮人

ヲ苦シメテ居ルノデアリマス、又朝鮮ノ田

舎ニ於テ朝鮮人ノ警察官ガ隨分横暴ラシテ、

ソレガ爲ニ非常ニ朝鮮人ガ苦シデ居ルト云

フ事實ガアル、是ハ朝鮮統治ノ上ニ非常ニ

惡影響ヲ與ヘルモノト考ヘマスルカラ、

ソレ等ノ點ニ付テ特ニ當局ニ於テ御注意ヲ

願ヒタイ

ソレカラモウ一ツ御話申上ゲタイコト

ハ、宣教師經營ノ學校デアリマスルガ、今

日マデ中學校四ツ、高等女學校四ツ、專門

學校三ツト云フモノガ既ニ色々ノ事情カラ

付託議案
朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)
明治四十五年法律第二十三號中改正法律案(釋太ニ於ケル石炭ノ探掘ニ關スル件)(政府提出)
臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出)
朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出)
朝鮮鐵道株式會社所屬金泉慶北安東間鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
臺灣米穀移出管理特別會計法案(政府提出)

廢校ニナツテ居リマス、尙ホ昨年九月ノコトデアリマスガ、男女ノ神學校ガ各、一ツ廢校ニナリ、ソレカラ聖經學校ト云ツテ居

リマスガ、日本デ言フ聖書ヲ教ヘル學校、

ソレガ三十バカリ無期開校延期ニナツテ居

リマス、九月十日ノ問題以後、私ハ其ノ後

聞キマセヌガ、恐ラク是モ廢校ニナルコト

ニナツテ居ルデアラウト思フ、斯ウ云フコ

トニナレバ教育ニ從事シテ居ル宣教師ト

云フモノハ、皆用ガ無クナルノデ國ニ歸ラ

ナケレバナラス、此ノコトガ直グ支那ニ聞

エルト、五千七百ノ宣教師ニ影響シテ、其ノ

コトガ國交ノ上ニ害ガアルト云フコトヲ私

ハ憂慮スル、ドウカ是等ノ點ニ付テ朝鮮統

治ノ局ニ當ツテ居ル當局ニ於テ、特ニ御注

意アラシコトヲ御願スル次第デアリマス、

ソレニ付テ當局ノ御意見ヲ伺ヒマス

○大野政府委員 地方ニ於キマシテ取締ノ

任ニ當ル者ガ、往々ニシテ民衆ノ誤解ヲ招

クヤウナコトガナイヤウニ注意スルコトニ於キマシテハ、今後トモ十分努メル積リデアリマス、ソレカラ教育、殊ニ外國ノ宣教師ノ教育ノ問題デアリマスガ、是ハ總督府ト致シマシテハ、一ツノ方針ヲ立テマシテ總テノ學校ニ臨ンデ居ル譯デアリマス、隨ヒマシテ其ノ方針ニ從ハザル學校ハ閉鎖サレテモ、ドウモ致シ方ガナイノデアリマス、又左様ナ場合ニ於ケル此ノ生徒ノ始末ニ付キマシテハ、總督府ニ於テ十分考慮致シテ居リマス、併シ御示シノヤウニ、外國ノ宣教師ガ隨分噓實取リ混ゼテ色々ノコトヲ宣傳スル、其ノ宣傳ノ效果ガ隨分今日ノ日本ノ狀態ニ憂フベキコトヲ與ヘルト云フコトモ考ヘテ居リマスノデ、サウ云フ點ニ付キマシテ、必要已ムヲ得ザルモノニ付キマシテハ致シ方ガナイノデアリマスガ、無用ノ刺戟ヲ與ヘルヤウナコトハ十分慎ンデ居ル積リデアリマス

○松山委員 私ノ質問ハ終リマシタ

○菊池委員長 木村正義君

○木村委員 私モ二三ノ點ニ付テ當局ニ御伺致シタイ、第一ハ朝鮮事業公債發行限度ヲ、モツト擴張シナケレバナラス、斯ウ考ヘマスカラ、此ノ點ニ付テ御伺致シタイト思ヒマス、朝鮮ハ産業上カラ見マス、御

承知ノ通り從來農業國トシテ重要ナル地位ヲ占メテ居リマシテ、殊ニ今回ノ支那事變ニ際シテハ、支那ト内地トノ中間ニアツテ、所謂穀倉トシテ重大ナル役割ヲ演ジマシタコトハ、私共ノ頗ル意ヲ強ウスル所デアリマス、此ノ事ハ今後ノ時局ヲ考ヘマスルト、一層其ノ重要性ヲ増大スルモノト考ヘルノデアリマスルガ、饒ツテ今日朝鮮ノ産業ヲ觀察致シマスレバ、今ヤ朝鮮ハ農業國ヨリ工業國ニ轉換ノ時期ニ到來セルコトヲ觀取スルコトガ出來ルノデアリマス、而シテ朝鮮ノ此ノ工業ノ發達ガ、今後期待セラるベキ我國ノ生産擴充ノ上ニ、又輸出貿易振興ノ上ニ、大ナル貢獻ヲ爲スベキコトヲ確信スルモノデアリマス、ソレニ付テ其ノ基礎要件トシテ、當局ニ於テ先ヅ考ヘラレネバナラスモノ、施設セラルベキモノハ、本委員會ニ於テ各委員カラ當局ニ再三要望セラレマシタ如ク、鐵道、道路、港灣、治水、砂防、電氣、斯ウ云フ事業ニ思ヒ切ツテ劃期的ナ計畫ヲ立テラレル必要アリト思フノデアリマス、從來ノ情性ニ依ツテ漸次擴張スルト云フヤウナコトデナク、今日此ノ時局ニ直面シテ、サウシテ思ヒ切ツタ御計畫ヲ立テラレルコトガ私ハ必要デアルト思ヒマス、右ニ付テ私ハ既ニ總督府デモ御調査

ガ出來テ居ラウト思ヒマスシ、又計畫モ或ル程度立ツテ居ラウト思ヒマスカラ、其ノ大要ヲ御伺致シタイト思ヒマス、併シマダ調査中デアアル、若クハ今後更ニ調査研究スルト云フコトデアリマスナラバ、其ノ組織方法等ニ付キマシテ、當局ノ御意思ノアル所ヲ御伺致シタイト思ヒマス

○大野政府委員 公債ノ發行限度ヲ今日提案シテ居リマスルガ、モツト大キク且ツ計畫的ニ組織ヲ致シマシテ、限度ヲ擴張シタラドウカ、斯ウ云フ御質疑デアリマスルガ、只今マデノヤリ方ハ、現實ニ各年度ニ於テ實行致シマスル金額ヲ——尤モ各年度ト申シマシテモ、大體計畫ヲ現實ニ立テマシタモノヲ、一々限度ノ擴張トシテ御審議ヲ願フデ居ル譯デアリマス、更ニソレデハモツト各方面、或ハ電氣デアルトカ、或ハ交通、港灣、道路ト云フヤウナ方面ニ互ツテ、包括的ニ公債ノ發行限度ヲ決メタラドウカ、斯ウ云フコトニナリマスルガ、ソレマデノ現實ノ問題トシテハ、一寸今手許ニ持合セテ居ラスノデアリマス、唯色々ノ計畫ヲ、例ヘバ過般時局對策調査會ト云フヤウナモノヲ拵ヘマシテ、サウシテ斯ウ云フ仕事モアル、斯ウ云フ仕事モアル、諸種ノ仕事ヲ選ビマシテ、其ノ中直チニ實行シ得ルモ

ノ、是ハ今日ノ現勢デハ、實ハ豫算ノ上、又計畫ノ上ニ於テ計畫ハ立ツノデアリマスルガ、猶テ實際ノ問題ニナリマスルト、器材ノ關係、物資ノ關係、是デ制約ヲ受ケマサルノデアリマシテ、實現ノ可能ナモノヲ取リマスルト、今日ノヤウナ發行限度ニナリ、今日ノヤウナ計畫ニナル譯デアリマス、併シ御示シノヤウニ全般的ニ、或ハモツト語ヲ換ヘテ申シマスレバ、或ハ綜合的ニ各種ノ交通、或ハ工業、サウ云フモノニ付テ計畫ハ更ニ十分調査シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、又今ノ時局對策調査會ト云フヤウナモノヲ、之ニ活用致シタイト考ヘテ居リマス

○木村委員 私ノ御尋シタ所ト少シ違フヤウデアリマス、私ハマダ是カラモ發行限度ノ擴張ニ付テ御尋致シマスガ、先ヅ其ノ前提トシテ、今日朝鮮ガ我國ノ生産擴充、輸出入貿易ノ振興、斯ウ云フ見地カラ茲ニ劃期的ナ計畫ヲ立ツル時期ニ到來シテ居ル、サウ致シマスルト、是等工業ノ發達ノ基礎要件タル鐵道、道路、港灣、治水、或ハ電氣、是等ニ向ツテ朝鮮總督府ニ於テ、十分ナル劃期的ナ御計畫ガ、私ハ立タナクテハナラスト思ヒマス、恐ラク今マデノ御調査ダケデハ不十分デアツテ、ソレヲ調査會トナサ

レルカ、或ハ部内デ御調査ニナルカ、部外ノ人モ加ヘタ調査會デオヤリニナルカ、必ズソコヘ御計畫ガ新ニ立タナクテハナラスト思ヒマスガ、サウ云フ方面ニ付テ如何様ニ相成ツテ居ルカ、斯ウ云フコトヲ先ヅ御尋シタ譯デアリマス

○大野政府委員 總督府ニ於キマシテモ今日ノ時局ニ對應シテ、諸種ノ計畫ヲ立テル必要ヲ認メマシテ、昨年勅令ヲ以チマシテ、時局對策調査會ト云フモノヲ組織致シマシタ、是ハ朝鮮ノ人ハ固ヨリ、内地ノソレノ各方面ノ權威者ヲ集メマシテ案ヲ拵ヘマシタノデアリマス、是ハ可ナリ各方面ニ互ツテノ今日ノ時局ノ狀況ニ應ジテ爲スベキ對策ヲ網羅致シタモノデアリマス、其ノ實行ヲ實ハ一ツ一ツヤツテ居ルノガ、今日ノ計畫ニナツテ居ル譯デアリマス、隨テ先般モ御質疑ガアリマシタガ、鐵道ニ致シマシテモ、例ヘバ羅津ト清津ヲ連絡スル線ト云フヤウナモノハ、此ノ調査會ニ於テモ其ノ必要ヲ認メラレテ、決定サレテ居ルノデアリマス、併シ現實ノ問題ニナリマスルト、之ヲ敷設スルニ當ツテ、ヤハリ全般ノ公債計畫ト云フヤウナモノニ制約サレマシテ、今日茲ニ御審議ヲ願フマデノ運ビニナツテ居ラスノデアリマス、隨ヒマシテ今後サウ云フ決定

ヲ待チ、又現ニ調査ヲ進メテ居リマシテ、逐次御協賛ヲ仰グヤウナ結果ニナリ、又自然公債ノ發行限度ヲ、更ニ増加スルト云フヤウナ結果ニナルト考ヘテ居リマス

○木村委員 次ニ御尋致シマスコトハ、朝鮮總督府ノ歲入豫算ヲ見マスルト、現在ノ狀態ニ於キマシテハ、是等ノ鐵道、道路、港灣、治水、砂防、電氣ト云フヤウナ事業ヲ爲スノニハ、申スマデモナク結局公債支辨ニ俟ツノ外ナイト思ヒマス、公債金及ビ借入金等ヲ除キマスルト、朝鮮ノ歲入豫算ト云フモノハ、大體四億六七千万圓程度デアリマスルカラ、是等ノ經費ハ殆ド經常、臨時ノ他ノ事業ニ充當セラレルノデアリマスルカラ、朝鮮ノ産業ノ基礎ヲナス事業ヲナサルノニハ、全ク公債支辨ニ依ルノ外ナイ狀況デアリマス、然ラバ是等ノ事業ガ實行セラレルヤ否ヤト云フコトハ、一ニ懸ツテ事業公債發行限度ガ、ドノ程度ニ擴張セラレルヤ否ヤト云フ點ニ懸ツテ居ルト思フノデアリマス、私ハ昭和十四年度公債金一億六千四百餘萬圓ハ、當局ノ現在持ツテ居ラルル事業計畫ニ要スル經費ノ、殆ド半バニモ達シナイノデヤナカラウカト思ヒマス、私ハ今後數年ノ間ト云フモノハ、毎年少クトモ三億圓程度ノ事業公債發行ノ必要ガア

ルノデヤナイカト思ヒマス、恐ラク是レ位ノ發行ガ出來ナイト云フコトデハ、先程私ガ申シマシタ此ノ時局ニ對應シテ、朝鮮ガ日本ノ生産擴充、輸出貿易ノ振興ノ上ニ貢獻スルニ支障アリト私ハ考ヘマスルガ、ソレ等ノ點ニ付テ腹藏ナキ當局ノ御所見ヲ御同致シタイト思ヒマス

○大野政府委員 只今ノ御質問ニ御尤デアリマシテ、吾々ト致シマシテモ、今後朝鮮ガ此ノ時局ニ對應スル爲ニ仕事ヲスル上ニ於テ、畢竟公債ノ増發ト云フコトガ、ドウシテモ必要ニナツテ參ルノデアリマス、併シソレデハ幾許ノ金額ヲ以テ足リルカト言フト、只今三億圓ト云フ御話ガアリマシタガ、是ハドウモ現實ノ問題ニ當ラナイト分リマセス、又朝鮮ノ當局トシテハ、結局財政當局ト相談ヲ致シマシテ、ヤハリ日本全國ノ公債市場、日本全國ノ金繰リト申シマスカ、左様ナコトト、今日ニ於テハ又更ニ進シテ物資ノ關係、是モヤハリ今日ノ企畫院ノ計畫ト云フモノト牽聯シテ離レルコトハ出來ナイ、此ノ二ツニ制約サレル譯デアリマス、併シ吾々トシテハ出來得ル限リ其ノ金額ガ多額デアリ、又公債ノ額ガ多ナルト云フコトガ畢竟産業ノ開發、今日ノ時局ニ對應スル所以ダトハ、勿論考ヘテ居ル譯デアリマス

○木村委員 私ハモウ少シ當局トシテ、御考ニナツテ居ル所ヲ、率直ニ御同致シタイノデアリマス、私共ガ考ヘマシテモ、恐ラク朝鮮總督府デ一億六千四百餘萬圓位ノ經費ヲ取ラレテモ、責任ヲ以テ此ノ時局ニ應ジテ行ク譯ニハ行カヌ、斯ウ御考ニナリハシナイカ、是ハ或ハソコマデ仰シヤルコトハ無理カモ知レマセヌケレドモ、ドウモ是デヤ不十分ダ、斯ウ御考ニナツテ居ルノデヤナカラウカト思ヒマス、只今政務總監カラ、當局トシテハ此ノ事業公債發行限度ヲ、成ベク多ク擴張シテ貰フコトガ必要デアルト考ヘテ居ルガ、内地ノ公債發行ト云フヤウナモノトモ關聯シテ、思フ通りニナラヌ點ガアル、制約ヲ受ケル點ガアル、又物資ノ關係等ニ於テモ制限ヲ受ケル、斯ウ云フ御話ガアリマシタガ、物資ノ關係ニ於テ制限ヲ受ケルト云フコトニナレバ、是ハ私ハ御尤ト思ヒマス、併シナガラ物資ノ關係ニ於テ制限ヲ受ケズシテヤルベキ事業ト云フモノハ道路、港灣、治水、砂防其ノ他ニ於テ少クナイノデアリマス、内地ニ於キマシテモ殊ニ土木事業ノ如キモノハ、必ズシモ輸入物資若クハ軍需資材等ニ掣肘ヲ受ケナイデナサレル仕事ト云フモノハ少クナイノデアリマス、土木事業ノ大部分ト云フモノ

ハ、或ハサウ云フ方面ト關係ナシニヤレルヤウナ實情ニアルノデアリマス、ソレカラ内地ノ公債ト關聯シテ掣肘ヲ受ケルト御話ニナリマシタ點ハ、是ハ大藏省トノ折衝等カラ考ヘマスルト御尤ト思ヒマス、併シ大藏省ガ果シテ今日此ノ公債ニ付テ、何カ一ツノ限度ヲ持ツテ居ルカドウカ、斯ウ考ヘテ見マスルト、私ハ所謂健全財政ノ時代ト云フモノハ、今日ハ既ニ過去ツテシマツテ居ル、今日ハ必要ガアルナラバ、是ハ致方ハナクテモ、公債デ支辨スルヨリ外ナイ、公債デ支辨スルノモ致方ガナイ、斯ウ云フ時代ニナツテ居ルノデアリマス、隨テ今後朝鮮ノ工業ノ發達、ソレハ單ニ朝鮮ダケデナシニ、日本ノ産業貿易ノ發達ノ上ニ、ドウシテモヤラナクチャナナイ事業デアル、其處ニ必要ガアル、コ、數箇年ハ必ズ之ヲ成シ遂ゲナクチャナラヌ必要ガアルト云フコデアリマスナラバ、私ハ今日更ニ一億ノ此ノ朝鮮事業公債ヲ増發スルコトガ、ドウシテ許サレナイカ、是ハ理解スルコトハ出來ナイノデアリマス、恐ラク大藏省ノ當局モ、其ノ理由ヲ私ハ明示ラシテ居ナイト思ヒマス、又恐ラク朝鮮總督府ノ當局ニ於カレマシテモ、十分納得ノ行ク理由ヲ以テ、公債ト云フモノハ此ノ限度デ仕方ナイ、斯ウ認

メラレデ居ルノデヤナカラウト思ヒマス、恐ラク概算査定ノ結果、大藏省ニ對シテ十分御折衝ニナツタコトトハ存ジマスガ、已ムヲ得ズ其處ニ落付イテ居ルノデアツテ、ドウシテモ日本ノ今日ノ公債政策ノ上カラ言フト、是レ以上増セナイト云フハツキリシタ理由ヲ、納得ヲサレテ居ルノデヤナカラウト思フ、又ソレヲ納得セシムベキ理由ト云フモノハ、私毛頭今日ハ存在シテ居ナイト思ヒマス、サウスルトはハ大藏當局ナリ朝鮮總督府ノ當局ナリガ、今後十分ナル折衝ヲナサルナラバ、更ニ一億、二億ノ事業公債ヲ擴張スルコトハ可能ノコトデアラウト私ハ思ヒマス、結局私共カラ申シマスルト、大藏當局ガ朝鮮總督府ノ意ノアル所、其ノ計畫ノ存スル所ヲ十分理解シナイ結果、ソコニ至ツテ居ルノデヤナカラウカ、又朝鮮總督府ガ大藏省ノ此ノ査定ニ同意ラセラレタト云フヤウナ所ニ、此ノ事業公債ガ擴張セラレナイ原因ガ存在スルノデヤナカラウカト思ヒマス、隨テ是ハ私ハ實ハ大藏當局ニ御尋致シタイノデアリマスガ、大藏省見エテ居リマスカ——以上ノ點ニ付テ朝鮮總督府當局トシテ御考ノアル所ヲ、先ヅ御伺シテ置キタイト思ヒマス

○大野政府委員 只今ノ計畫ハ兎ニ角、現實ノ問題トシテ斯ノ如キ公債ヲ發行シテ斯ノ如キ事業ヲヤルト云フコトニナツテ居リマス、今後ノ問題ニ付テハ、先程モ御答致シマシタヤウニ、事業ノ緩急、必要ニ依ツテ更ニ大藏當局ト勿論協議ヲ致シマシテ、或ハモウ一度御協賛ヲ受ケルヤウナ結果ニナルカト考ヘテ居リマス、又左様ナ方面ニ吾々勿論努力シタイト考ヘテ居リマス

○菊池委員長 大藏省ノ政府委員ガ來マシタ

○木村委員 大藏省カラ何カ御答ガアリマスカ、寧ロ大藏省ノ御意見ヲ私ハ伺フノガ眼目デアリマス、要旨ハ、今日朝鮮總督府ノ豫算ヲ見マシテモ、若シ朝鮮總督府ガ今後日本ノ生産擴充、或ハ産業、貿易ノ振興ノ上ニ一大貢獻ヲシヨウト思フナラバ、朝鮮事業公債ノ擴張ヨリ外ニ方法ハナイノデアリマス、隨テ若シ大藏省ガ他ノ公債關係等ニ拘泥サレテ、サウシテ此ノ事業公債ノ擴張ト云フコトヲ御認メニナラヌト云フコトニナレバ、朝鮮總督府ト云フモノハ、此ノ工業ノ基礎トナル例ヘバ鐵道改良デアルトカ、或ハ道路、港灣、或ハ電氣、治水、是等ノ事業ト云フモノハ殆ド爲シ能ハナイ、是ガ十分ナル發達ヲ見ズシテハ、私ハ朝鮮總督府ガ、今後日本ノ工業ノ振興ノ上ニ寄

與スルニ、非常ナル障礙ニナルト思ヒマス、今年ハ一億六千四百餘萬圓ノ公債ヲ御認メニナツテ居ルケレドモ、私ガ考ヘル所デハ、コト四五五年ノ間ト云フモノハ、少クトモ三億程度ノ事業公債ト云フモノガ出ナクテハ、今日ノ時局ノ要求ニ應ズルコトハ出來ナイデハナイカ、大藏當局ニ於テモ其ノ點ヲ御認メニナツテ、今後十分其ノ點ヲ注意シテ、事業公債發行限度ヲ擴張スル、斯ウ云フ御意思デアレバ私ハ何等異存ナイノデアリマスルカラ、ソレ等ノ點ニ付キマシテ御意見ヲ御聽致シタイト思ヒマス、唯今日公債ト云フモノハ、他ノ内地ノ公債トモ一緒ニ募集シテ居ルシ、是ハ無暗ニ發行ハ出來ナイ、無暗ニ發行ノ出來ナイコトハ明瞭デアリマスケレドモ、所謂健全財政ノ時代ト云フモノハ既ニ過去ツテ、今日國家存亡ノ爲ニ必要ガアルナラバ、斯ノ如キ公債ノ發行ハ已ムヲ得ナイ、斯ウ云フ時代ニ立至ツテ居ルノデアリマスカラ、明瞭ナ理由ナシニ、單ニ此ノ公債發行ノ限度ヲ擴張スルコトハ出來ナイト云フヤウナコトダケデハ、満足致シ兼ねルノデアリマス

○植木政府委員 只今ノ御質問ハ、朝鮮ノ事業公債ノ發行ヲモツト多クシテ、サウシテ内外地ヲ通ジタル生産力擴充其ノ他ノ計

畫ヲ、十分ニ實現スベキデハナイカ、尙ホ今後ニ於テサウ云フ意見ヲ持ツテ居ルカドウカト云フヤウナ御質問ノヤウニ承リマシタガ、此ノ點ニ關シマシテハ、ヤハリ各外地トモ、ソレノ當該外地ニ於キマスル事業ノ緩急ノ性質ヲ考ヘマシテ、更ニソレガ當該會計ノ財政ニ及ボス影響、是等ヲ考慮ニ入レマシタ上デ、公債ノ發行限度ト云フモノハ、各外地毎ニ考ヘテ行クベキモノダト考ヘマス、ソレガ併セテ各外地及ビ内地ヲ通ジマシタ公債發行計畫ノ上ニ、如何ナル影響ヲ與ヘルカト云フコトヲ考慮シナガラ、其ノ限度ヲ定ムベキモノデアリマシテ本年度ノ公債發行計畫ト致シマシテハ、朝鮮ニ於ケル事業ノ性質及ビ其ノ内容ヲ考ヘ各外地トノ權衡ヲモ考ヘ、更ニソレガ内地ノ公債發行計畫全體ニ及ボス地位ヲ考ヘマシテ、此ノ程度ヲ以テ已ムヲ得ナイモノト考ヘテ、此ノ法案ヲ御願シテ居ル次第デアリマス、尙ホ今後ノ問題ト致シマシテハ、ヤハリ今申シマシタ原則ニ從ヒマシテ、事業ノ性質及ビ其ノ事業ガ、内地ノ計畫トノ間ニ如何ナル關聯性ヲ持ツカ、ドノ程度マデ之ヲ實現ニ移シテ行クベキデアルカ、及ビ朝鮮ノ特別會計ノ財政ノ現在、及ビ將來ノ負擔力ト云フコトヲモ考ヘナガラ、其ノ

計畫ヲ適當ニ實現シテ行クト云フノガ、政府ノ意見デアルト申上デテ差支ナイと思ヒマス

○木村委員 只今ノヤウナ御意見ハ實ハ御伺フスル必要モナイコトデアツテ、サウ云フコトハ豫算ヲ査定スル、公債額ヲ決メルト云フ上カラハ、ドンナ少額デモ、ドンナ大キナ額デモ同ジヤウニ言ヘルコトデアリマス、私ハサウ云フコトヲ御尋シテ居ルノデナクシテ、今日ノ如キ劃期的産業ノ發達ヲ圖ラナケレバナラス時ニハ、從來ノヤウナ考ヘ方デハイカヌ、唯技術的ナ考ヘ方デハイカヌノデアアル、又今日斯ウ云フ生産公債ト云フヤウナモノハ之ヲ發行シテ其ノ事業ヲ行ウテ、益、生産ノ擴充ヲヤルト云フヤウナ點カラ考ヘマスルト、少シモ其處ニ之ヲ阻止スル理由ハナイデハナイカ、若シ具體的ニ聽ケバ、更ニ分リマスガ、例ヘバ一億圓出スト云フコトハ、ドウ云フ支障ヲ來スカト云フ説明、一億圓ノ増額ハ何故出來ヌカスウ云フ具體的問題ヲ私ガ出シマシテ、ソレニ付テ各方面カラ御答辯ガアルナラバ納得致シマスケレドモ、私ハサウ云フコトヲ此處デ要求ハ致シマセヌ、併シ大局カラ考ヘマシテ、今後ハ此ノ程度ノ發行限度デハ、朝鮮ノ今日ノ實情カラ見マシテ過少デアル、

コ、四五年ノ間モツト思切ツテ基礎的ナ事業ニ投ゼラレルコトガ必要デアル、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘルノデアリマス、道路、港灣、鐵道、治水ノ如キ方面ハ一日モ之ヲ等閑ニ付セズシテ、此ノ際大ニヤラナケレバナラスト云フ、其ノコトニ付テハドウ云フ御考デアリマスカ、其ノコトヲ一應御伺致シマス

考ヘマシテ、事業ノ内容其ノモノニ付テヤハリ併セ考慮サルベキ問題デアラウト考ヘルノデアリマス、隨テ本年ノ朝鮮ノ事業トシテハ此ノ程度ノ規模ニ止メテ置キタイ、サウシテソレニ對應スル公債ヲ發行シタイト云フコトデ、今回御願シテ居ルノデアリマス

○植木政府委員 只今ノ重ネテノ御質問ハ公債ノ發行ノ程度ヲモツト殖シテヤルベキデハナイカト云フヤウニ承リマシタガ、朝鮮事業公債ブドノ程度マデ發行シ得ルカト云フコトノミカラ、朝鮮ノ事業ノ計畫ノ規模ヲ定ムベキモノデハナクシテ、當該事業ガ、所謂内地トノ關係、及ビ朝鮮其ノモノノ會計ニ於テ、ドノ程度マデ此ノ際實現シテ行カナケレバナラスカト云フ仕事ノ内容ノ方面カラ、併セ考ヘルベキモノダと思ヒマス、唯單ニ公債ノ發行ガ尙ホ更ニ、假ニ一億圓ト致シマスナラバ一億圓ヲ發行シ得ルデハナイカ、隨テ事業モドンノヤツテ宜シイデハナイカト云フ風ニノミ——公債ノ發行可能限度ノミノ方面カラ考ヘルベキデハナクシテ、ソレハヤハリ内地ノ生産擴充計畫及ビ其ノ事業ニ伴フ物資ノ需要、其ノ他朝鮮ニ於ケル他ノ事業トノ關聯性ヲモ

○木村委員 今ノ御説明デスガ、サウ云フコトヲ私ハ少シモ申上ゲテ居ラスノデアリマス、後ニオ出デニナリマシタカラ御存ジナイカモ知レマセヌガ、朝鮮總督府トシテ鐵道、道路、港灣、或ハ治水、電氣、ソレ等ニ付テ此ノ時局ニ對應スル十分ナル御計畫ガアルカドウカト云フコトヲ御聽シマシテ、サウシテ此ノ必要ナル基礎事業ニ對シテ、仕事ヲ思切ツテヤツテ行カウ、朝鮮總督府モサウ御考ニナツテ居ル、誰デモサウ考ヘテ居ルト思フ、考ヘテヤルノガ何モ財政ノ要旨デナイト云フコトハ、誰デモ分ツテ居リマス、即チ事業ノ必要ヲ認メテ、財政ヲ考ヘ、收入ヲ考ヘルノガ財政ノ根本デアリマスカラ、アナタノ最初御説明ニナツタヤウナコトハ、誰モ考ヘテ居リマセヌ、隨テ今日朝鮮總督府デ、若シ是レ以上必要ガナイト其處デ仰シヤルナラバ、ソレハアナタノ仰シヤル通りデ宜イカ、モ知レ

マセヌガ、此ノ一億六千四百餘万圓ノ外ニ、モット朝鮮デハ必要上ヤラナケレバナラヌト云フ御計畫ガアルト思フ、又斯ウ云フ御計畫ノナイ、朝鮮總督府デアツタナラバ、殆ドソレハ御話ニナリマセヌ、何レノ省ト雖モサウ云フ必要ナ事業ヲ持ツテ居ツテ、サウシテソレヲ大藏省ニ要求シ、色々ノ財政ノ都合上大藏省ハソレヲ査定サレテ居ル、斯ウ云フ實情デアリマスカラ、爲サナケレバナラヌ事業ト云フモノハ、今日朝鮮總督府ハウント持ツテ居ラレルト思ヒマス、隨テ問題ハソレニ對スル公債ノ發行ガ出來ルカドウカ、斯ウ云フ點ニ懸ツテ居ル譯デス、其ノ點ヲ御尋致シテ居ル次第デアリマス、サウシテ今日ノ實情ヲ見ルト、サウ云フ基礎的ナ事業ニ對シテハ、今後大イニヤラナケルバナラヌト私共考へ、恐ラク朝鮮總督府モ左様ニ御考ニナツテ居ルト思ヒマス、其ノ點ハ大藏當局モ私ハ同ジ御考デアルト思ヒマスガ其ノ點ニ御異存ガアリ、違ツタ御意見ガアルナラバ承リタイト思ヒマス、イヤ今日朝鮮總督府ニハモウ是レ以上ノ必要ナ計畫、事業ハ持タヌノダ、隨テ事業ガナイカラ金ヲ出ス必要ハナイノダ、斯ウ云フ御意見ガアルナラバ御同致シタイト思ヒマス

○植木政府委員 御答申上ゲマス、言葉ガ足りマセヌ爲ニ、或ハ私ノ申上ゲル趣旨ガ判明シナカツタカモ知レマセヌガ、私ノ申シマシタ趣旨ハ、朝鮮ニ於ケル事業ノ緩急ノ程度、即チ此ノ際ニハ此ノ程度ニ止メテ貰ヒタイト云フコトヲ、大藏省ニ於テハ勿論希望致シマス、其ノ希望ハ如何ナル所カラ起ルカト申シマスレバ、勿論朝鮮總督府ノ御當局ニ於テハ、各種ノ大キナ計畫及ビ將來ニ互ル健全ナル計畫ヲ考ヘテ居ラツシヤルコトデアリマスカ、ソレヲドノ程度ニ毎年々々豫算化シテ行クカト云フコトニ付キマシテハ、内地ノ計畫及ビ其ノ計畫ニ伴フ物ノ關係、其ノ他ノ朝鮮ノ各種ノ事業等ノ關係ヲ考慮致シマシテ、此ノ程度ニ止メテ貰ヒタイト云フコトニナツタノデアリマス、又ソレヲ公債ノ發行限度ノ問題ニ付テ考ヘマスト、假ニ朝鮮總督府ニ於テハ、當該會計ノ財政ノ現狀ガ、更ニ若干ノ公債ノ増額ヲ來ストシマシテ、之ヲ負擔シ得ルト假定致シマシテモ、所謂内外地ヲ通ジテノ公債發行計畫ノ影響ト云フモノヲ考慮、セラレテヤツテ居ルノデアリマス、隨テ朝鮮總督府ニ於テ計畫シテ居ラレモノガ、必要ナシト考ヘルノデハナイノデアリマシテ、出來得ルナラバ能フ限り其ノ御希望ニ副ヒ

タイノデアリマスカ、内外地ヲ通ジテノ公債發行計畫ニ及ボス影響ヲ考ヘマシテ、此ノ程度ヲ以テ御満足ヲ願ツテ居ル次第ナノデアリマス

○木村委員 一寸御尋致シマスガ、公債發行計畫ト云フト、何カ決マツタ一ツノ計畫ヲ御持チニナツテ居ルノデアリマセウカ、ソレヲ御同致シタイト思ヒマス、以前ハ例ヘバ公債八十億圓以下ニ止メタイトカ、八億圓ニ止メタイトカ、七億圓ニ止メタイトカ、所謂健全財政ト云フヤウナコトデ、サウ云フ政策ヲ執ツタコトモアツタヤウニ思ヒマスガ、今日モ何カ内外地ヲ通ジタ公債發行ノ限度ト云フモノニ付テ、一定シタ計畫ヲ御持チニナツテ居ルノデアリマセウカ、ソレヲ御同致シマス

○植木政府委員 昔ノ所謂健全財政時代ト呼バレマシタ時代ノ如キ意味ニ於テノ、公債發行計畫ト云フ意味デハゴザイマセヌガヤハリ今日ニ於ケル此ノ事變ノ爲ニ、多額ノ支那事變公債ヲ發行シナケレバナラナイト云フ時代ニ於キマシテ、事業公債ニ付テハドノ程度ヲ以テ満足スベキカ、或ハ歳入補填公債ニ付テモ、成ベクソレヲ最小限度ニ止メタイト云フ全體論トシテノコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、公債全體ヲ通ジテ

幾十億ニ止メナケレバナラヌト云フヤウナ意味ノ、公債發行ノ計畫ガアルト云フ趣旨デ申上ゲタノデヤナイノデアリマス、隨テ事業公債デアルカラ、幾ラデモ出シテモ宜シイト云フ考モ持タナイシ、又歳入補填公債ハ勿論成ベク少額ナランコトヲ希望スル、支那事變公債ニ付テモ、能フ限り是ハ經費ノ節約等ヲ致シマシテ少額ニシテ、公債ノ消化ニモ惡イ影響ノ及バナイヤウニ、有ユル方面ヲ考慮シテ、少額ニシテ行キタイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○木村委員 大體御話ノ點ハ了解致シマシタ、即チ内外地ヲ通ジタ公債ノ發行ト云フモノニ付テ、限度ヲ持ツテ居ル譯デハナイ併シ公債ヲ發行スル以上ハ、各方面ヲ考慮シテ、大藏當局トシテハ成ベク少イ方ガ宜イカラ、少クシナクチャナラヌト云フ御考デアラウト思ヒマスカラ、其ノ點ハ私モ何等異存ハアリマセヌ、別ニ發行ノ限度ヲ御定メニナツテ居ラレナイト云フ以上ハ、必要ガアレバドウシテモヤラナケレバナラヌ、併シ軍事公債ノヤウナモノハ、戰爭ヲスル以上ハ大藏省ガ何ト御考ニナツテモ、是ハヤラナケレバナラヌ、是ハ又國民ガ承知ヲシナイト云フコトデアリマスカラ、斯ウ云フ必要ガアリヤ否ヤト云フコトガ、公債ヲ

ドレ程出スカ、出サナイカ、國策ノ上カラ
必要ガアルカドウカト云フ、斯ウ云フ所ニ
私ハ懸ツテ居ルト思ヒマス、其ノ點ハ先程
カラ申上ゲテ居ルノデアリマス、此ノ朝鮮
事業公債ト云フモノハ、數年前ノ朝鮮事業
公債ト違ツテ、今日ノ時局ノ上カラ見ルト、
軍事公債ト同ジ性質ノモノ位ニ、私共ハ其
ノ重要性ヲ考ヘル、今後ノ重大時局ニ對處
シテ、日本ガ生産力擴充、輸出貿易ノ振興
ヲ圖ル上カラ申シマシテモ、殊ニ朝鮮ハ謂
ハバ工業發展ノ途上——端緒ニ付イタヤウ

ナ時代デアリマスシテ、此ノ時局ノ目的ヲ
達成スル爲ニハ、謂ハバ軍事公債ト同様ナ
重要ナル公債デハナイカトマデ私ハ考ヘルノ
デアリマス、軍事公債ニ付テハ、必要アレ
バ出サナケレバナラスト云フコトデアアルナ
ラバ、單ニ朝鮮事業公債ノミデハアリマセ
ヌケレドモ、内外地ヲ通ジテ時局ノ解決ニ
必要ナル公債ナラバ、私共出サナケレバナ
ラヌ性質ノモノデヤナカラウカト思ヒマス、
軍事公債ナラバ何デモ彼デモ是ハ認メナケ
レバナラヌケレドモ、外ノ方面ナラバ差控
ヘテ宜シイト云フヤウナ議論ハ少シモ立タ
ナイノデ、軍事公債以上ニ此ノ事業公債ナ
ドハ認メナケレバナラストニ遭遇シテ居ル、
サウシナケレバ次ニ來ルベキ重大時局ノ解

決ト云フモノハ、私ハ出來ナイト思フノデ
アリマス、サウ云フ意味ニ於テ私ハ先程カ
ラ論ジテ居ルノデアリマスカラ、ドウカ其
ノ趣旨ヲ大藏當局ニ於テモ御考ニナツテ、
今後ハ相當此ノ點ニ御留意ヲ願ヒタイ、此
ノ發行限度ノ擴張ニ付テ御考ヲ願ヒタイト
云フ、強キ希望ヲ申上ゲテ置ク次第デアリ
マス

次ニ朝鮮事業公債ノ發行方法ニ付テ、一寸

御尋ヲ致シタイト思ヒマス、此ノ公債ハ私
ノ考デハヤハリ他ノ公債ト同ジヤウニ、日
本銀行デ一應引受ケテ居ラルルと思フノデ
アリマスガ、如何デアリマスカ、併シ此ノ
公債ノ如キモノハ、朝鮮銀行其ノ他朝鮮ニ
於ケル金融機關、其ノ他ニ引受ケシムルコ
トガ、或ハ適當デハナイカト私ハ考ヘマス
ガ、ソレ等ニ付テ御考ノアル所ヲ一ツ御聽
キシタイ

○水田政府委員 朝鮮事業公債法ニ依リマ

シテ發行致シマスル公債ハ、ヤハリ御示シ
ノヤウニ内地ノ公債ト併セテ、特別會計ニ
於ケル他ノ公債ト打ツテ一丸トシテ發行サ
レルコトニナツテ居リマス、隨ヒマシテ朝
鮮事業公債法ニ示サレアルダケノ額ガ發
行サレマスル場合ニハ、或ハソレガ日本銀
行引受ニナルカ、一般賣出シニナルカ、其

ノ時ノ賣出シ方法ニ依ツテ分レマスケレド
モ、他ノ公債ト共ニ打ツデ一丸トシテ發行
サレマス場合ニ於テハ、如何ナル形式ニ於
テ發行サレマスルカ、朝鮮事業公債ダケノ
關係ニ付テ申シマスレバハツキリハ致サナ
イノデアリマス、兎ニ角内地ノ一般ノ其ノ
他ノ公債ト併セテ發行サレルコトニナツテ
居リマス、朝鮮内ニ於ケル金融機關ナリ或
ハ個人ナリガ、朝鮮ノ事業ニ必要トスル公
債ヲ目當トシテ、引受ナリ買入ナリスルコ
トハドウデアアルカ、此ノ點ハヤハリ内地ノ
方デ一般ニ公債ヲ御發行ニナリマス際ニ、
出來ルダケ朝鮮ノ方デモ、公債消化ト云フ
意味ニ於テ公債ヲ持テ、郵便局ノ賣出シモ
ヤレ、又金融機關ニ於テモ、出來ルダケ公
債ヲ持ツヤウニト云フ、一般ノ公債ノ消化
ノ方法トシテ、朝鮮ニ於ケル金融機關ナリ、
或ハ個人ガ郵便局カラ買入レルト云フコト
ヲ致シテ居リマスガ朝鮮トシテ必要ナル公債
債ヲ、朝鮮自ラノ金融機關其ノ他ニ於テ引
受ケルト云フコトノ意味ニ於テ、朝鮮内ニ
於テ消化ラスルト云フコトニハ相成ツテ居
リマセヌ、朝鮮ノ經濟力ト申シマスルカ、
朝鮮ノ事業ノ爲ニ必要トスル公債全部ヲ消
化スルカハ勿論マダアリマセヌ、大部分ハ
内地ノ方デ資金ヲ調達スルト云フ關係上、

斯ウ云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス
○木村委員 之ニ關聯シテ御聽キシマス
ガ、朝鮮ニ於ケル今日マデノ國債ノ賣行ト
申シマスカ、此ノ時局ニナリマシテ國債ヲ
買ヒマシタ高ナド、御分リニナツテ居リマ
スカドウデアリマスカ

○水田政府委員 御示シノ點ハ郵便局賣出

シ、其ノ他ノ所謂大衆引受ト云フ意味デゴ
ザイマセウカ、或ハ其ノ他ノ金融機關ガ、
自分ノ金繰ノ都合其ノ他ニ於テ持ツタノモ
含メテノ意味デゴザイマセウカ

○木村委員 全部含メテノ意味デアリマス

○水田政府委員 昭和十二年ノ時局以來ノ

意味デゴザイマセウカ

○木村委員 サウデス

○水田政府委員 只今部分的ニハ私記憶致

シテ居リマスルガ、御示シノヤウニ昭和十
二年ノ時局以來全部ヲ集メテ、ドレダケカ
ト云フコトハ、調べマシテ御答致シタイト
存ジマス

○木村委員 次ニハ先日戴キマシタ資料ノ

朝鮮事業公債支辨ノ事業費額調ニ付テ、一
寸御尋致シマスガ、其ノ「イ」ノ昭和十二
年度迄發行濟額ハ、合計五億四千五百餘万圓ト
ナツテ居リマスルガ、是ガ償還ハ先程御話
ニナツタヤウニ、國債整理基金特別會計ニ

於テ、一般的ニ整理サレルノデアツテ、朝鮮事業公債ト區分シテ整理シテナイ爲ニ、是ガドウ償還サレテ居ルカト云フコトハ不明ニナツテ居ルト思ヒマス、明瞭ニナツテ居ルナラバ御伺シタイト思ヒマスケレドモ、是ハ皆ト一緒ニナツテ居ル爲ニ明瞭ニナツテ居ナイグラウト思ヒマスガ、右特別會計ヘハ毎年國債整理基金收入トシテ、朝鮮總督府特別會計カラ受入レテ居ルノデア

マセスカラ、後刻集計致シマシテ御示シ致シタイト存ジマス

アリマスカ

カラ見マスルト、朝鮮ハ此ノ僅ナ千二百餘萬圓ヲ、別ニ補充トシテ受ケナクテモ宜シイノデハナイカト考ヘマスガ、之ヲ受ケナクテハナラヌ何カノ理由ガアリマスカ、一應御伺致シタイト思ヒマス

リマス、昭和十四年度ノ豫算ヲ見マスルト、三千五百二十一萬九千五百四十四圓、斯ウナツテ居リマスガ、今日マデドレ位國債整理基金ノ中ニ、朝鮮總督府特別會計カラ受入レラレタカ、其ノ額ガ分ツテ居リマスルナラバ御伺シタイト思ヒマス

○水田政府委員 公債ノ償還ハ皆様御承知ノ通り、前年度初ノ公債現在額ノ萬分ノ八十六ト云フコトニナツテ居リマス、只今御示シノ三千五百餘萬圓ト云フ公債整理特別會計ヘノ繰入ノ中、六百八十餘萬圓程ガ公債ノ償還ト相成ツテ居リマス、隨ヒマシテ朝鮮ノ負擔致シマスル事業公債デドレダケ毎年償還サレテ居ルカト云フコトハ、御示シノ豫定計算書ノ各目明細ノ其ノ額ヲ集計致シマスレバ、自然判明致スコトニナリマスガ、只今集計ノ總額ヲ手許ニ持ツテ居リ

○水田政府委員 朝鮮總督府ノ會計ニ於キマシテ、公債發行ニ依ル收入ヲ、何時必要トスルカト云フコトハ、總督府特別會計ノ金繰ニ依ツテ決定スルコトニ致シテ居リマス、今日ニ於キマシテハ、大體年度ノ末ニ參リマシテ發行致シマシテモ、金繰上差支ナイ狀況ニ相成ツテ居リマス、隨テ現在デハマダ公債金特別會計ニ對シテ、朝鮮ノ分ヲ發行シテ呉レルヤウニト云フコトヲ、今日マデハ致シテ居リマセヌ、恐ラク三月ニナリマシテ發行シテ戴クコトニナルグラウト考ヘテ居リマス

○大野政府委員 御話ノヤウニ一度補充金ハ止メタノデアリマスガ、其ノ後復活致シマシテ今日ニ及ンデ居ル譯デアリマス、金額ハ必ズシモ多クナイノデスガ、兎モ角一般會計ヨリ補充ヲ受ケテ居ルト云フ多少何ト言ヒマスカ、精神的ト申シマスカ、道德的ト申シマスカ、左様ナ意味ガ可ナリ深イモノト考ヘテ居リマシテ、今日マデ續ケテ居ル譯デアリマス

○水田政府委員 公債ノ償還ハ皆様御承知ノ通り、前年度初ノ公債現在額ノ萬分ノ八十六ト云フコトニナツテ居リマス、只今御示シノ三千五百餘萬圓ト云フ公債整理特別會計ヘノ繰入ノ中、六百八十餘萬圓程ガ公債ノ償還ト相成ツテ居リマス、隨ヒマシテ朝鮮ノ負擔致シマスル事業公債デドレダケ毎年償還サレテ居ルカト云フコトハ、御示シノ豫定計算書ノ各目明細ノ其ノ額ヲ集計致シマスレバ、自然判明致スコトニナリマスガ、只今集計ノ總額ヲ手許ニ持ツテ居リ

○木村委員 サウスルト是ハ別ニ事業ヲ中止シテ居ルトカ、サウ云フ關係デ未發行ニ終ツテ居ルト云フ意味デハナイノデアリマスカ、或ハ事業ノ繰延中止ト云フヤウナ關係デ未發行ニナツテ居ル、斯ウ云フ關係デ

○木村委員 次ニハ朝鮮財政ノ獨立問題ニ付テ、御伺致シタイト思ヒマス、朝鮮總督府ノ特別會計ハ、昭和八年ニ於テ御承知ノヤウニ全ク一應中央政府ノ厄介ニナラヌコトニナリマシタガ、昭和九年カラ再ビ補充ヲスルト云フコトニナツテ、今日ニ至ツテ居リマス、最近ハ毎年千二百九十萬圓餘ノ補充金ヲ受ケルコトニナツテ居リマスガ、是ハ六億數千萬圓ノ朝鮮特別會計カラ見マスレバ、洵ニ微々タルモノデ強ヒテ補充ヲ受ケル必要ガナイヤウニ考ヘラレマス、殊ニ臺灣ニ於テハ今日獨立ヲ致シテ、補充金ナドヲヤツテ居ナイト云フ、斯ウ云フ現状

○木村委員 其ノ點ハ一應其ノ通りト致シマシテモ、一方ニ於テ補充金ヲ受ケナガラ——是ハ私ハ一々調ベル暇モナカッタノデアリマスガ、昭和十一年度ニ於テハ一般會計ト特別會計トノ調整ト云フ名目ノ下ニ、一般會計ノ繰入増加ガ百九十萬圓、減債基金繰入ノ増加ガ三百七十八萬餘圓、合計五百六十八萬餘五千圓ヲ十一年度ニハ増シタノデアリマス、一方サウ云フ補充金ヲ受ケナガラ、又一方朝鮮特別會計ニ餘裕ガアツタトシテ、ソレヲ一般會計ニ繰入レルト云フコトハ矛盾ガアルト思ヒマス、サウ云フ點ニ

付キマシテハドウ云フ御考デアリマスカ、
是ハ十一年度ノミナラズ——或ハ十一年度
ダケカモ知レマセヌガ、私十分調査ヲスル
暇モナカツタノデアリマスガ、ソレ等ノ點
ニ付テ御意見ヲ伺ツテ見タイト思ヒマス

○大野政府委員 御示シノヤウニ十一年
度、十二年度、十三年度又十四年度ノ豫算
デモサウデアリマスガ、一般會計ニ繰入レ
テ居リマス、補充金ノ方ハ兎モ繰入切リ
ニナツテ居リマス、補充シ切リニナツテ居
リマス、繰入金ノ方ハ他日特別會計ニ戻ス、
斯様ニ建前ニ兎モ角ナツテ居ル次第デアリ
マス、隨テ一時繰入レル、尤モ軍事費ニ繰
入レルモノハ繰入レ其ノ儘ニナツテ居リマ
ス、一方ハ其ノ儘、片方ノ繰入ハ一時繰入
デ後返ス、斯ウ云フコトニナツテ居リマ
スノデ、多少サウ云フ點ニ於テ、御話ノヤ
ウニナツテ居リマス

○木村委員 ソレハ大藏省ガ成ベク他ノ特
別會計カラ繰入ヲヤリタイ、サウ云フ方針
デ斯ウ云フ恰好ニナツテ居ルト思ヒマス
ケレドモ、一方補充金ヲ貰ヒナガラ、更ニ餘
裕ガアルトシテ繰入レルト云フヤウナコト
ハ、隨分矛盾ヲ致シテ居ルト思ヒマス、一
方ノ補充金ハヤリ切リデアル、一方ハ後デ
返スト云フヤウナコトハ勿論アリマスケレ

ドモ、サウ云フ事由デハ、ドウモ説明ガ付
カヌデハナイカト思ヒマス、斯ウ云フコト
ハ豫算ノ政策ト云ヒマスガ、サウ云フ點カ
ラ來テ居ルト思ヒマスガ、ドウモ補充金ヲ
貰ヒナガラ、會計ニ餘裕ガアルトシテ繰入
レルト云フコトハ、假令後デ返ストシテモ
私ハ説明ガ付カスト思ヒマス、是ガ十分説
明ガ付クト云フコトデアリマスレバ、御意
見ヲ承リタイト思ヒマス

○大野政府委員 詰リ特別會計ト一般會計
トノ依存關係ト申シマスガ、特別會計トシ
テハ兎モ角千二百何万圓カノ繰入金ヲ續ケ
テ貰ヒ、其ノ都度々々ノ餘裕ヲ見テ、一時コ
ツチヘ繰入レル、其ノ代リ結局戻スト云フ
コトニナルト、會計ノ關係ト云フモノハソ
レデ明ニナツテ居ルノデアリマス、隨テ今
日一般會計ニ餘裕ヲ生ズレバ、其ノ繰入レ
タモノハ直グニ戻サレル、是ハ議會ノ御協
賛ヲ經テサウナツテ居ルノデアリマス、ソ
コデアトハ結局御意見ノ問題ニナリマスガ、
先ツサウ云フ建前ニナツテ居ル譯デアリマ
ス

○木村委員 次ニ慶北線買収ノ爲公債發行
ニ關スル法律案ニ付テ御尋致シマス、朝鮮
事業公債ノ第一條ヲ見マスト、私設鐵道買
収ニ要スル交付金トシテ交付スル爲、政府

ハ公債ヲ發行スルコトガ出來ルト云フコト
ガ掲ゲラレテアリマス、サウシマスルト、
此ノ慶北線ヲ買収ナサルニ、何モ單行ノ法
律ヲ御出シニナル必要ガナイデハナイカ、
交付公債デ買収サレバ宜イデハナイカ、
之ヲ強テ茲ニ單行法律ヲ御出シニナツタト
云フノハ、何カ特別ノ理由ガアリマスカド
ウカ、御伺致シマス

○水田政府委員 只今ノ御質問、洵ニ御尤
ト思ヒマス、實ハ鐵道ノ買収ニ付キマシテ
モ、此ノ朝鮮事業公債法ノ改正ニ依ツテヤ
ルコトニシテ從來ズツトヤツテ來タノデア
リマス、何議會デアリマスガ、確ト記憶致
シマセヌガ、數年前ニヤハリ私設鐵道ノ買
収ヲ行ツタコトガアリマス、其ノ時ニ——
是ハ卒直ニ申上ゲマスガ私ノ記憶致ス所ニ
依リマス、政府部内ニ於ケル交渉ガ長引
キマシテ、私設鐵道ノ買収ト云フコトガ議
會休會明ケマデニハ、マダ決定致シマセヌ
デシタ、然ルニ一方事業公債法ハ公債發行
ノ關係上、御承知ノヤウニ一般豫算デ幾ラ
發行スルカ決マリマスカラ、休會明ケ劈頭
ニ議會ニ提出致シテ居ツタノデアリマス、
議會ニ於テ其ノ當時、既ニ事業公債法ノ御
審議中ニ、朝鮮ノ私設鐵道ヲ一線買収スル
ト云フコトニ、政府部内デ決定致シマシタ

ノデ、其ノ既ニ御審議中ニ相成ツテ居ル事
業公債法ヲ撤回シテ、更ニ私鐵買収ノ交付
公債ニ必要トスルダケノ限度擴張ヲ御願ス
ルガ宜イカ、或ハ獨立ナ法律トシテ、私鐵
買収ノ法律案ノ御協賛ヲ御願スルガ宜イカ
ト云フコトニ付キマシテ、政府部内デ色々
議論ガアツタノデアリマス、其ノ時ハ既ニ
事業公債法ノ御審議モ、略、片付イタ時デア
リマシタ、尙ホ内地ノ例ナドヲ見マスト、
私鐵ノ買収ト云フコトハ、ヤハリ獨立ノ法
律トシテオヤリニナツテ居ル、朝鮮ニ於ケ
ル私鐵ノ買収ト云フコトハ、殊ニ議會ニ於
テモ重要視シテオ居デニナル、事業公債法
一本デ、從來通りヤルノモ方法デアルケレ
ドモ、既ニ御審議モ大體済ンデ居ル時ニ、
更ニ撤回シテ殖ヤスト云フコトモ手續上如
何ナモノデアルカ、此ノ際ヤハリ獨立シタ
一ツノ法律案トシテ、私鐵ノ買収ヲ御願ス
ル方法ガ宜イノデハナイカト思ヒマシテ、
何年デアリマスガ、數年前單行法ヲ以テ私
鐵ノ買収ト云フコトヲ御願シテ御協賛ヲ經
タノデアリマス、爾來私鐵ノ買収ニ付キマ
シテハ、ヤハリ其ノ内容ヲヨリハツキリナ
ラシメ、又其ノ時ニ單行法ヲ出シタ慣例ニ
倣ヒマシテ、今回モ單行ノ法律案ヲ出シタ
ヤウナ次第デアリマス

○木村委員 今マデノ經過ニ付テハ明ニナリマシタガ、サウスルト將來ヤハリ私鐵買收ニ關シテハ、朝鮮事業公債法ニ依リ公債ヲ發行サレルノデナクシテ、單行法デ總テヤラレル、斯ウ云フ方針ニ御決メニナツタ譯デアリマスカ、ドウデアリマスカ、ドウモチラデモ出來ルヤウナ恰好ニナツテ居ルト、甚ダ私ハ朝鮮事業公債法ヲ制定サレタ趣旨ニ反シテ居ルノデハナイカト思ヒマス、此ノ前ノ時ノ事情ハ事情デアリマスケレドモ、其ノ特別ノ事情ヲ採ツテ、ソレヲ原則ノヤウニサレルト云フコトニナリマスルナラバ、朝鮮事業公債法ノ私鐵買收ニ關スル條項ヲ、御削除ニナルガ當然デアツテ、ドチラデモ出來ルト云フヤウナ恰好ニシテ置カレルト云フコトハ、非常ニ不統制デヤナイカト思ヒマス

○水田政府委員 御示ノヤウニドチラカニ統一シタ方宜クハナイカ、是ハ一應考ヘ得ルコトデアリマス、今回ハ前回ノ例ニ倣ツテ、獨立シタ法案デ御協賛ヲ願フコトニ致シタノデアリマスガ、將來先程申上ゲマシタ前例ノヤウニ、事業公債法ハ事業公債法トシテ御協賛ヲ御願致シマシテ、其ノ後ニ於キマシテ、私鐵買收ノ議ガ熟スルヤウナ場合ニ於テハ、ヤハリ單行法デ出ス方方便宜

デハナイカト考ヘルノデアリマス、併シナガラ其ノ時ノ狀況ニ依リマシテ、如何様ニ致シマスカ、マダ大藏省ト其ノ點ニ付キマシテハ十分ノ協議ヲ遂ゲテ居リマセヌ、私ノ考ト致シマシテハ、將來此ノ前ノ例ノヤウナ時ガアリマスナラバ、ヤハリ獨立ノ法律デ出スト云フコトモ起リ得ルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、尙ホ一面内地ノ方デハ、私鐵ノ買收ハ獨立ノ法律ヲ施行サレテ居ルト考ヘテ居リマス、ソシテ點モ考慮ニ入レマシテ、今回ハ斯ウ云フヤウナ形式ヲ執ツタ次第デアリマス

○木村委員 其ノ點ハ將來十分御考慮ニナルト云フコトデアリマスレバ、私ハ彼此レ申上ゲマセヌ、ドチラデモ出來ルト云フヤウナ恰好デハ、ドウモ法ヲ制定シタ精神ヲ沒却スルノデハナイカ、又豫算ガ出來上ツタ後ニ私鐵買收ノ問題ガ起ツタト云フノナラ、追加豫算デモ出來ル譯デアリマスカラ、必ズシモ單行法ヲ出サナクテハ方法ガナイト云フ譯デハナカラウト思ヒマス、此ノ朝鮮事業公債ノ増額ノ追加豫算ヲ出サルレバ私ハ宜イデハナイカト思ヒマス、其ノ點ハ今後統一スルヤウニ御研究ヲ御願致シテ置キマス
次ニ最後ニ一ツ御尋致シタイコトハ、朝

鮮ノ北部ノ鐵道ト羅津ノ港ハ、滿鐵ニ委託經營ヲサレテ居リマスガ、是ハ滿洲トノ產業、交通、サウ云フ理由カラ滿鐵デヤツテ貫ツタ方宜シイ、斯ウ云フ所カラ來テ居ルト思ヒマスガ、唯ソレダケノ理由デセウカ、或ハ滿鐵ハ相當資本モ豊富デアル、朝鮮總督府デヤルトナルト、ドウモ此ノ事業公債法ノ増額ガ中々難カシイカラ、是ハ滿鐵ニヤツテ貫ツタガ宜シイト云フ、サウ云フ資金關係等カラモ來テ居ルノデアリマセウカ、ソレヲ一應御伺シタイ

○大野政府委員 今日滿鐵ニ鐵道ノ經理ヲ委託シテ居リマスノハ、別ニ資金關係ト云フヤウナコトデナシニ、ヤハリ滿洲ヲ控ヘテ滿鐵ニヤラセル方方宜シイト云フノデ、委託ニナツテ居ル譯デアリマス、隨テ鐵道其モノハ朝鮮ノ鐵道局ニ於テ建設シテ居ル譯デアリマス

○木村委員 其ノ委託經營ノ内容ハドウ云フ風ニナツテ居リマスカ、鐵道ノ收益關係等ニ付キマシテハドウ云フヤリ方ヲ、朝鮮總督府ト滿鐵ノ間ニナサレテ居リマスカ
○工藤政府委員 北鮮ノ鐵道ハ滿鐵ノ方ニ經營ヲ委託致シマシテ、年々其ノ業績ノ如何ニ應ジテ納付金ヲ朝鮮總督府デ取ルコトニナツテ居リマス、サウシテ日常ノ營業費

ト修繕ニ要スル經費等ハ滿鐵ニ於テ之ヲ負擔スル、但シ水害ナドノ關係デ相當大キナ被害ヲ受ケマシタ場合、或ハ昨年ノヤウニ張鼓峰事件ト云フヤウナコトデ相當額ノ被害ヲ受ケマシタ場合ニハ、其ノ復舊ニ要スル經費、總テ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ負擔致シマス、サウシテ此ノ委託經營ノ期間ハ滿二十箇年ト云フコトニナツテ居リマス

○木村委員 朝鮮總督府カラ考ヘレバ、自分ノ地域内ノコトハ自分デヤル、斯ウ云フ方針デアラウ、又其ノコトヲ希望セラルルト思ヒマスルガ、今二十箇年ノ契約ニナツテ居ルト云フコトデアルガ、今日ノ御考デハ、尙ホ引續イテ委託經營ニシテ置カウト云フ御考デアリマセウカ、或ハ適當ナ時ニハ朝鮮總督府ノ方デヤリタイ、斯ウ云フ御考デアルカ、又現在ノ鐵道ダケニ限ラレルノデアルカ、或ハ先程御話ニナツタヤウナ羅津ト清津ノ間ニ鐵道ガ出來ルト云フコトニナレバ、ソレモ滿鐵ニ經營ヲ委託サレルノデハナイカトモ考ヘマスルガ、ソレ等ノ點ニ付テハ如何御考デゴザイマセウカ
○大野政府委員 鐵道ガ行政ト密接ノ關係ガアルコトハ申スマデモナイコトデ、原則トシテハヤハリ鐵道モ行政權ノアル所デ經營スルコトガ宜シイト考ヘテ居リマス、併

シ目下ノ狀況トシテハ、先程申上ゲタヤウナ理由デ滿鐵ニ委託經營ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、其ノ後ノ情勢ニ鑑ミマスルト、或ハ清津ヲ中心ト致シマシテ、北鮮ニ於ケル各種ノ産業ノ非常ナル發展ト云フヤウナ情勢カラ鑑ミマシテ、聊カ委託經營ヲ致シマシタ當時ト異ツテ參リマシタ、隨ヒマシテ此ノ委託ノ内容ニ付キマシテハ更ニ十分研究ヲ致シマシテ——是ハ滿鐵ノ關係モアリマスルシ、又關東軍トノ關係モアリマスルシ、各方面ノ關係者ニ於テ十分研究ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○木村委員 其ノ點ハ明瞭ニナリマシタガ、羅津ノ築港ガ完成致シマシタ後ニハ、清津カラ圖們ニ至ル線ト云フノハ、別ニ滿鐵ニ委託經營ナサル必要ガナイノデヤナイカ、只今政務總監ノ御話ノ趣旨ニ依ルト、滿洲トノ關係ハ主トシテ羅津ガ其ノ吞吐港トナル譯デアリマスカラ、其ノ築港ガ完成スレバ、清津カラ圖們ノ方ニ行ク線ハ、朝鮮總督府デ直接經營サレテ宜クハナイカト思フノデスガ、其ノ點ハ如何デアリマセウカ

○大野政府委員 今ノ趣旨ヲ以チマシテ各關係者ニ於テ協議ヲ致シテ居リマス、其ノ結果ニ依リマシテ、只今ノ問題ニ對スル結論モ決ルト思ツテ居リマス、今此ノ席デス

ウスルト云フコトハ一寸申シ兼ねマス

○木村委員 ソレカラモウ一ツ、羅津ハ滿鐵ノ經營ニ依ツテ港ノ設備等ガ今日行ハレテ居リマスガ、清津ハ總督府ノ直轄デアル、斯ウ云フコトカラ色々ノ點ニ將來摩擦ガ生ズルノデハナイカト思フ、殊ニ今日マデハ、清津ガ日本ノ内地ノ港ト總テノ連絡ヲ持ツテ居ル、斯ウ云フ狀況デアル、羅津ガ將來ノ滿洲トノ主要ナル連絡ノ港トナルト云フコトニ付キマシテモ、今日マデノ取引關係其ノ他デ、清津ト内地ノ港、問屋ナドト非常ナ密接ナル連絡ガアルノデアリマスルカラ、ソコニ非常ニ難カシイ問題ガアルノデヤナイカ、而モ一方又羅津ハ滿鐵ノ經營デアル、清津ハ總督府ノ經營デアル、斯ウ云フコトカラモ、却テ色々ナ摩擦ヲ生ズル原因ニナリハシナイカト思ヒマス、ソレ等ノ點ニ付テハ色々御心配ト思ヒマスガ、御意見ガアルナラバ承リタイ

○大野政府委員 羅津ハ滿鐵ガ經營致シテ居リマスルシ、清津ハ總督府、或ハ日本製鐵ガ今後港ヲ取込ムコトニナリマス、斯様ニ經營者ガ變ツテ居リマスガ、是ハ元々總督府ニ於テ滿鐵ニ委託シテ、アノ港ヲ經營シテ貰ツタヤウナ譯デアリマシテ、ソレガ爲ニ之ニ對シテ便宜ヲ與ヘナイ、或ハ別ケ

隔テラスルト云フコトハ毛頭アリマセス、唯寧ロ羅津ノ發達セザル所以、又羅津ノ利用セラレザル所以ハ色々ナコトガアルヤウデアリマス、例ヘバ土地ノ關係デアリマスルトカ、或ハ行政ノ組織ノ關係デアリマス、色々ナ關係ガアリマスノデ、總督府ト致シマシテハ之ヲ根本的ニ改メタイ、サウシテ羅津港設置ノ趣旨ニ適フヤウニ、詰リ大陸ノ吞吐港トシテ働ケルダケノ設備ヲ早クシ、又其ノ組織ヲ整ヘルヤウニ、豫算ニモ、或ハ羅津廳ノ計畫デアルトカ、或ハ都市計畫ノ問題デアルトカト云フヤウナ問題ヲ考ヘマシテ、豫算ヲ計上致シテ居ル譯デアリマス、寧ロ總督府ト致シマシテハ、滿鐵ノ經營ニ於テ十分其經營ノ實ヲ擧ゲ得ルヤウニ、有ユル力ヲ入レテ應援ヲ致シテ居ル譯デアリマス、ソレカラ清津ハ御話ノヤウニ色々事情ガ變ツテ居リマスルシ、又是ハ總督府デヤツテ居リマスガ、今ノ茂山ノ鐵礦ノ關係トカ云フヤウナ譯デ、是ハ是デ又ソレゾレ力ヲ入レテヤツテ居リマス、皆其ノ港々ニ應ジテ力ヲ致シテ居ル譯デアリマス

○木村委員 最後ニ其ノ清津ノ港ノ築港ト申シマスカ、三百万吨位ノ設備ヲスル、是ハ日本製鐵トカ、或ハ三菱トカノ專用ノ設備デアリマスカ、或ハ一般ニ使用セシメラ

ル考デアリマスカ、清津ノ今マデノ港ト云フモノハ非常ニ小サクテ、ドウシテモアレヲ擴張シナケレバナラスト云フコトハ、一般ノ輿論ト云ツテ差支ナイノデアリマスガ、今ノ設備ハ單ニ日本製鐵ナリ、三菱重工業デスカ、三菱製鐵デスカ、ソレダケノモノデアリマスカ、一般ニ使用サセル御考デアリマスカ

○大野政府委員 一般ニモ勿論使用サセマス、併シ貨物ガ隨分多イヤウデスカラ、ヤハリ日本製鐵、三菱等ニモ協議ヲ致シテ居リマス、併シシマダ港ヲ作ル部分ガ可ナリ留保サレテ居リマス、一般ニモ勿論使用サセマス

○木村委員 質問ヲ終リマス

○菊池委員長 此ノ際二十分間休憩致シマス

午後二時四十五分休憩
午後三時十分開議

○菊池委員長 休憩前ニ引續キ開會致シマス——小田君

○小田委員 私ハ御提案ニナツテ居リマス議案ニ關聯致シマシテ、先ヅ朝鮮統治ニ關シテ御質問申上ゲタイト思ヒマス、朝鮮ノ行政機構ハ通稱總督政治ト申シテ居リマスガ、此ノ總督ハ内閣ノ命令系統下ニアリマス、

サウシテ又其ノ上ニオツ被サツテ拓務大臣ノ監督指導ノ線ガ入ツテ居ルノデアリマス、玆ニ吾々ハ二重支配のナ感ジヲ懷クノデアリマス、又是ハ勿論臺灣ニモ相當關係ヲ持ツノデアリマシテ、諸多ノ重要案件ニ對シテ總督ノ權限ガ中央政府ヲ抑制スルカシテ、一元のナ行政ヲ阻害スルコトガ多クアルノデアリマス、其ノ近キ例ハ、何レ論及サレルデアリマセウガ、臺灣ノ米穀管理案ニ致シマシテモ、當初總督府カラ總督ガ之ヲ要求スルト、農林本省ハ反對のナ意向ヲ持ツテ居タト云フヤウナコトモ其ノ一例デアリマス、又曩ニハ「セメント」若クハ肥料等ノ重要物資ノ統制ニ關シマシテモ、内地ノ統制ガ外地ニ對シテ及ビ難イ、サウシテ其ノ間ニ日本國家トシテノ行政ガ歪曲サレルヤウナ、或ハ十分ニ伸張出來ナイヤウナ結果ヲ來スコトガ多クアルヤニ聞クノデアリマス、總督府當局トサレマシテ、外地、主ニ朝鮮ノ行政機構ニ對シテ、此ノ東亞ノ新事態ニ對應スベク、其ノ改革ヲ御考ニナツテ居ルヤウナコトハアリマセヌカ、サウシテ又政府自體トサレマシテ、其ノヤウナコトヲ御考ニナリ、改革ヲ斷行シヨウト云フ御意思ヲ御持チニハナツテ居リマセヌカ、其ノ點ヲ御答辯ヲ御願致シマス

○大野政府委員 只今ノ總督府ノ機構ト致シマシテハ、之ヲ改メルト云フ考ヲ持ツテ居リマセヌ、ソレカラ總督府ニ關スル、少クトモ只今御引例ニナツタ例ヘバ「セメント」ノ統制ト云フヤウナ問題、左様ナ問題ニ付キマシテモ、ソレノ關係ノ省ト能ク連絡ヲ致シマシテ、何等實際ニ於テ差支ノナイヤウニナツテ居リマス、勿論新附ノ同胞ヲ控ヘテ居ル所デアリマスカラ、ソレノ特殊ノ事情ガアリマスノデ、其ノ事情ニ應ズル爲ニ各省ト色々相談スルコトモアリマスシ、勿論意見ヲ異ニスル場合モアリマシテ、其ノ違ツタ意見ヲ能ク綜合シ統合セラレテ執行サレテ居ル譯デアリマス、今日其ノ機構ヲドウスルトカスウスルトカ云フ考ハ總督府ニ於テハ持ツテ居リマセヌ

○小田委員 其ノ問題ニ關シマシテ今一ツ御質問申上ゲマス、今日ノ日本ハ、舊キ時代カラ新シキ時代ヘノ一大轉換時ニ遭會致シテ居ルノデアリマス、ソシテ日本國家ガ最モ要求スル所ノモノハ何デアルカト申シマス、内閣自體ノ強化ト云フコトデアリマス、即チ現在我が民族ハ其ノ總力ヲ擧ゲテ戰爭シツアルノデアリマスガ、此ノ事態ニ絕對的ナル勝利ヲ確保スル爲ニハ、内閣ガ十分ニ戰時内閣トシテノ力ヲ發揮スル

ニアルノデアリマス、所ガ内閣自體ノ本然ノ政治力ヲ發揮シヨウニモ、舊キ機構ハ慣習ナドニ因ツテソレガ達成シ難イ狀態ニアルトスルナラバ、是ハ今日日本民族ノ採ラザル所デアリマス、單ニ内閣ト總督府トノ權限問題ノミナラズ、外地ニ於テ國家權力ガヨリ強大化サレナケレバナライ必要ヲ吾々認メルノデアリマスガ、現在ノ總督府ノ權限ガ強大化サレルヨリモ、尙ホ以上ニ絕對的ニ必要視シナケレバナライノハ内閣自體ノ、或ハ總理大臣ノ權限ノ強大化デアリマス、其ノ必要ヲ充タス爲ニモ、私

ハ外地ニ於ケル總督政治ノ改革ヲ必要トスルノデハナイカト考ヘルノデアリマスガ、今一應之ニ對スル御答辯ヲ御願シマス

○八田國務大臣 只今ノ御尋ハ非常ニ重要ナ問題デアリ、且ツ廣汎ニ互ツタ點ガアリマスノデ、私カラ御答シテモ十分ナル御答ハ出來ナイト、存ズルノデアリマスケレドモ、一應御答申上ゲレバ、御話ノ如ク時勢ノ進展ニ伴ヒマシテ、有ユル行政機構ガ改革セラレテ之ニ順應セラルベキコト、御話ノ通りダト思フノデアリマスガ、今日ソレニ關聯シテ、外地ニ於ケル總督ナリ長官ノ權限、竝ニ中央ニ於ケル内閣下ノ關係ニ於キマシテ、今日時勢ニ即シテ特ニ斯ウ云フ

點ガ甚ダ不便デアル、改善シナケレバナラスト云フコトハ、拓務省トシテハマダ考ヘテ居ラスノデアリマス、何等カ特ニ問題ヲ御指摘ニナツテノ御話カモ知レマセヌガ、極ク概括論トシテハ左様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○小田委員 其ノ問題ニ付テハ、後日臺灣關係ノ問題ニ及ビマス時ニ重ネテ質問サセテ戴キマス

次ニ御尋致シタイノハ、朝鮮及ビ臺灣ニ關聯シ、ソレト共ニ樺太ニモ及ブノデアリマスガ、此ノ外地ノ同胞ニ對シテ、我モ日本人ナリ、我モ日本臣民ナリトスル意識ヲ確然ト持タセル爲ニ必要デアルト考ヘル所ノ、參政權ヲ附與サレル御意思ハナイノデアルカ、又附與スルコトヲ目標トシテ御準備ニナツテ居ルヤウナコトハナイカ、或ハ參政權ヲ御與ヘニナルノニ付テ、特別ニ條件ヲ御考ニナツテハ居ナイカ、サウシテ御與ヘニナル時期ハ何時頃デアルカト云フコトニ付テ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○大野政府委員 朝鮮ニ關スル限リ、參政權問題ハマダ今日其ノ時期デナイト考ヘテ居リマス、諸種ノ狀況ガ整ヒマシテカラ左様ナ問題ハ考フベキ事柄デアルト考ヘテ居リマス、是ガ爲ニ教育其ノ他諸種ノ制度ヲ

整ヘテ居ル譯デアリマス

○小田委員 其ノ問題ニ付テ樺太ニ關スル點ハ、樺太ニ關スル問題ニ入リマシタ時ニ質問致シマス……

○菊池委員長 小田君ニ一寸申上ゲマス、今朝鮮關係ノ議案ヲヤツテ居リマスカラ、樺太ノ問題、臺灣ノ問題ハ他ノ機會ニ御願シマス

○小田委員 次ニ總督政治ノ善サト申シマスカ、之ヲ吾々ハ決シテ否定スル者デハナイノデアリマシテ、其ノ擧ゲタ所ノ功績ヲ讀ヘルニ各デハナイノデアリマスガ、唯最モ遺憾トスル問題ハ、總督ノ下ニ司法權ガ掌握セラレテ居リマシテ、民衆ト直接接觸スル所ノ朝鮮統治ノ官吏ガ、往々職權ヲ濫用シタリ、或ハ不正ナル取引ヲ強要シタリ、其ノ結果統治ニ對シテ非常ナ惡影響ヲ醸ス虞ガアルト考ヘラレル事態ガ、幾度カ惹起セラレノデアリマスガ、斯カルコトノ一掃ヲ期スル爲ニモ、私ハ今日ノ場合外地ノ司法權ヲ獨立セシメルコトガ、絶對的ニ必要デアルト考ヘルノデアリマスガ、之ニ對スル御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○大野政府委員 只今朝鮮ニ於ケル司法權ノ行使ニ付キマシテハ、御話ノヤウナ事實ハ私ハ無イト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ

今日其ノヤリ方ヲ變ヘルト云フコトハ考ヘテ居リマセス、司法權ノ行使ハ極メテ公平ニ、且ツ正シク行ハレテ居リマス

○小田委員 司法權ノ行使ガ從前モ遺憾ノナイヤウニ行ハレテ居タトスレバ、吾々ハ或ル程度安堵スルノデアリマスガ、此ノ事變下ニ總督ノ御膝元デアル所ノ京城ニ於テ、其ノ府尹ト申シマスカガ、不正事件ニ關テ勾引セラレテ居ル答デアリマス、斯ノ如キ事ハ今日戰時下ニ在ツテ、別ケテモ外地大衆ヲ身ヲ以テ指導シナケレバナナイ所ノ官吏タル者ガ、斯カル行爲ニ依ツテ勾引セラレテ居ルト云フヤウナコトハ、遺憾ノ極ミデアリマシテ、斯カル事態ガ起ツテ來ルコトモ司法權ノ獨立ガ無キ爲デハナイカ、謂ハバ馴合ヒトデモ申シマスカ、サウ云フヤウナ惡影響ヲ齎スノデハナイカト云フコトヲ惧レルノデアリマスガ、ソレモ亦日ヲ更ヘテ質問シタイト思ツテ居リマス

次ニ私ハ教育關係ニ付テ質問シタイト思ヒマス、朝鮮ノ小學兒童ノ就學率ハ、都市ト農村ニ於テ非常ニ相違ヲ來シテ居ルト思フノデアリマスガ、極ク簡單ニ男子ト女子ニ分ケテ、其ノ新シキ比率ヲ教ヘテ戴キタ

○大野政府委員 只今女子ト男子ノ區別ヲ

分ケテ持ツテ居リマセスガ、只今私共ノ手ニ持ツテ居リマス統計ヲ御參考ニ申上ゲマスガ、大體ニ於テ推定就學兒童ノ約四分一ガ從前ノ就學兒童デアツタノデアリマス、ソレガ今日ニ於テハ三割強ニ増加致シテ居リマス、之ヲ取急イデ昭和十三年カラ五箇年ノ間ニ五割ニ達セシメタイト云フノデ、小學校ノ増設ヲ致シ、又之ニ必要ナル教員ノ養成ヲ致シ、諸種ノ制度ヲ整ヘテ、取急イデ先ツ第一ノ目標ニ進ンデ居リマス、斯ウ云フ風ニヤツテ居リマス

ソレカラ只今司法權ノ問題ニ付キマシテ御話ガアツテ、他日御問ガアルト云フ御話デアリマスルガ、京城府尹ノ問題ニ付キマシテハ大イニ恐縮ニ存ジテ居リマスガ、司法權ノ問題ハ寧ロ御話ノ逆デアリマシテ、總督府ノ官吏デアラウガ、如何ナル者デアラウガ、司法權ノ行使ノ前ニハ全ク憚ル所ナク左様ニ進ンデ居ルヤウナ譯デアリマシテ、寧ロ御安心ヲ願フコトニナルト思ヒマス、但シ左様ナ事件ノ起ツタコトニ付キマシテハ私共大イニ恐縮致シテ居リマス

○小田委員 新シイ統計ガ私ノ手許ニモナカツタノデアリマスガ、昭和十一年ノ統計トシテ、府デアリマスガ、ソレヲ都市ト農村ニ分ケマシテ、都市ハ男子ガ四割三分、

女子ガ一割八分、農村ガ男子ガ三割八分強、女子ガ九分強ニナツテ居リマス、私ハ此ノ男女平均致シマシテ三割強デアルト云フ御報告ヲ受ケテ非常ナ喜ビラ感ズルモノデアリマスガ、併シナガラ此ノ三割強ヲ分析シテ見マスト、男子ト女子トデハ格段ノ相違ガアルノデハナイカト思フノデアリマス、假ニ男子ガ五割デアレバ女子ガ一割五分程度ノモノデアル、此ノ事ハ教育問題ニ於テ最モ根本的ナ重大性ヲ持ツモノデアリマシテ、吾々ノ考ヘル所ニ依レバ、婦人ノ持ツ所ノ教化ノ力ト云フコトハ、吾々ノ幼イ頃カラノ體驗カラ致シマシテ、決シテ輕視スルコトノ許サレナイモノデアリマス、ソレニ女子ガ百人ノ中精々十人カ十五人シカ小學程度ノ教育ヲ受ケテ居ナイ、殘ル所ノ八十人カラ九十人近イモノハ無學文盲デアル、斯カル狀態ヲ以テシテ、果シテ新附ノ民ガ完全ニ日本國民トシテノ精神ヲ確把シタト云フコトヲ言ヒ得ラルル時期ガ、何時來ルノデアアルカト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、何ガ故ニ女子教育ガ此ノヤウニ等閑ニ附サレテ來タノデアアルカ、サウシテ當局ハ此ノ女子教育ニ對シテ、如何ナル方針ヲ御持チニナツテ居ルノデアアルカ、サウシテ又全般的ニ見マシテ、只今カラ就學スル所

ノ兒童ノ五割ヲ、五年後ニ於テ就學セシメ
ルト云フ方針デアラレルヤウデアルガ、今
日青年期ニ至ツタ所ノ無學文盲ノ徒ニ對シ
テハ如何ナル教育ヲ與ヘラレ、如何ニシテ
日本臣民トシテノ精神把持ヲ爲サシメヨウ
トサレルノデアアルカ、其ノ點ニ付テ御答願
ヒタイノデアリマス

○大野政府委員 御話ノヤウニ朝鮮ノ教育
ハ合併以來非常ニ努力致シテ居リマシテ、
實ハ昭和十二年ニ初メテ一面一校ト云フ計
畫ガ實現サレテ居ルノデアリマシテ、申サ
バ非常ニ「テンポ」ガ遅カツタ譯デアリマ
ス、左様ナ譯デ單リ女子バカリデナク、男
子ノ就學率モ今申上ゲタヤウニ全般ニ低イ
譯デアリマス、而シテ女子ニ付テノ問題ハ、
御話ノヤウニ是ハ非常ニ重大ナ問題デアリ
マシテ、普通教育ニ於テ今ノヤウナ趣旨デ
取急イデ其ノ施設ヲ致シマスシ、更ニ進
デ高等女學校等ノ設置モ十分致シテ居リマ
ス、非常ニ努力ヲ致シテ居ル譯デアリマス、
ソレデハソレ以外ノ、既ニ學齡ニ達シタ者
デ教育ヲ受ケナカツタ者ハドウシテ居ル
カ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、之ニ對シ
マシテハ或ハ簡易學校ノ制度、或ハ又講習
會、所謂各種ノ社會教育ニ於キマシテ、都
度都度ソレヲ集メテ講演ヲスルト云フヤウ

ナ、色々ナ出來ル限リノ機會ヲ利用シテ教
育ヲ與ヘ、又一方ニ於テハ國民精神ヲ注入
スル意味ニ於テ、或ハ青年團ヲ利用スルト
カ、或ハ愛國班、或ハ又農村ノ振興運動、
色々ノ方面カラ手ヲ入レカヲ加ヘテ居ル譯
デアリマス

○小田委員 私ハ昨日御答辯ノアリマシタ
朝鮮ノ小學校ニ於テ今日尙ホ教科トシテ爲
サシメテ居ル——勿論ソレハ自由裁量ニ依
ルノデアアルト云フコトデアリマシタガ、既
ニ此ノ國家ヲ、或ハ日本民族ヲ我が國家、
我が民族トシテ意識シツツアル所ノ朝鮮同
胞ニ對シテ、同族化、或ハ同一民族化ノ前
提要件トデモ言フベキ同一語使用ト云フコ
トニ對シテ、今少シ強キ御意見ヲ御持チニ
ナル必要ガアルノデハナイカト考ヘル者デ
アリマス、其ノ點ニ於テ何モ狐疑遂巡シ、
或ハ國際的ナ問題ガ惹起サレハシナイカナ
ドト云フ氣兼ねヲサレル必要ハ毛頭ナイト
信ズル者デアリマス、其ノ點ニ付テ一言御
答アレバ幸ト存ジマス

○大野政府委員 朝鮮ノ言葉ノ使用ノ問題
デアリマスガ、現在國語ヲ使用スル者ガ總
人口ノ約一割ト考ヘテ居リマス、隨ヒマシ
テ今直チニ之ヲ禁止スルト申シマスガ、教
ヘナイト云フヤウナコトハ是ハ如何ナコト

カト思ツテ居リマス、ヤハリ是ハ氣永ニ、
寧ロ逆ニ國語ヲ皆ガ修得スルト云フコトニ
依ツテ、其ノ言葉ガ自然ニ國語ニ變ルト云
フ時ヲ待タナケレバナラスノデ、ソレハ餘
リ急激ニヤルベキモノデナイト考ヘテ居リ
マス

○小田委員 時間ヲ制限サレテ居リマスノ
デ、駈足デ參リマスガ、社會政策問題ニ
付テ極ク簡單ニ御質問致シタイト思ヒマ
ス、是ハ極ク新シイ事情デアルト思フノデ
アリマスガ、御配リ下サイマシタ「朝鮮事情」
昭和十四年版ニモアルノデアリマスガ、朝
鮮ノ農民ノ窮乏ハ言語ニ絶スルモノガアル
ヤニ思フノデアリマス、此ノ朝鮮半島同胞
ノ飢餓的窮乏、其ノ根本的原因ノ重大ナル
一ツトシテ、小作慣行ノ問題ガ取上ゲラレ
ルト思フノデアリマス、甚シキハ實ニ八割
カラ九割近ク小作料ヲ取ラレテ居リ、平均
致シマシテモ五割内外デアリマス、而モ半
島同胞ノ約七割五分カラ八割近イ者ガ農民
デアリ、其ノ七割カラ八割近イ者ガ小作人
デアアルカ、又ハ自小作デアアルカ、零細農的
ナ狀態ニアルノデアリマス、勿論總督府ニ
於テハ銳意半島同胞ノ公民化ヲ念ジテ、適
切ナル御指導ヲ與ヘラレテ居ルト思フノデ
アリマスガ、此ノ經濟的ナ根本要因ヲ解決

スルコトナクシテハ、十分ナ成果ガ擧ガラ
レルデアラウカト云フコトヲ非常ニ懸念ス
ル者デアリマス、此ノ暴惡ナル小作慣行ノ
改廢ニ對シテ如何ナル御意思ヲ御持チニナ
ルカ、伺ヒタイト思ヒマス

○大野政府委員 朝鮮ニモ色々ナ慣行ガア
リマス、必ズシモ惡イ慣行バカリデハアリ
マセスガ、兎ニ角左様ナ方面ニ付テ、社會
立法トシテ所謂農地令ヲ作り、又小作調停
ノ制度ヲ採ツテ居リマス、左様ナ趣旨ニ依
リマシテ立法ノ上ニ於テ左様ナ方法ヲ採リ
又實際ニ於キマシテモ是等地主小作ノ關係
ニ付テハ、地方官憲ニ於テモ相當改良ヲ致
シテ居リマシテ、段々良イ方ニ向ツテ居リ
マス

○小田委員 デハ御伺シマスガ、地主小作
關係ハ如何ナル狀態ニアルヲ以テ理想トサ
レルノデアリマスカ

○大野政府委員 小作ト地主ト相互工合好
ク成立ツテ行クコトガ宜シイト思ツテ居リ
マス

○小田委員 小作料ガ土地價格ト對比致シ
マシテ、實ニ一割ニ及ビ、十年經ツカ經タズ
シテ其ノ土地代金ヲ取得シテ居ル狀態ニア
ルノデアリマスガ、此ノヤウナ土地制度ヲ存
置シテ置イテ、而モ此ノ「朝鮮事情」ニモアリ

マス通り 陛下ノ赤子六七十万ガ食料不足

ニ惱ミツツアルト云フ此ノ事實ヲ見テ、小作關係ニ徹底的改廢ヲ御考ヘニナラナイ筈

ハナイト思ヒマスガ、申サレマシタ農地令或ハ小作調停令等ニ依ツテ、十分ナ改革ガ

行ハレルト御考ニナルノデアリマスカ

○大野政府委員 朝鮮ノ小作制度ト申シマシテモ、ソレノ北ノ方ト南ノ方デハ非常

ニ事情ヲ異ニ致シテ居リマス、殊ニ南ノ方ノ全羅、慶尙地方ニ於キマシテハ土地ガ極

メテ集約デアリマスガ爲ニ、隨デ小作關係ノ人ガ多イ、其ノ爲ニソレニ伴フ諸種ノ弊

害ガアリマスガ、是ハ色々ノ制度カラ改革

シナケレバナラスノデアリマス、又飢餓ニ苦シムト云フコトモ、必ズシモ小作制度ノ

ミニ依ツテ起ルノデハナクテ、風水災害其ノ他ノ關係、又土地ノ生産力ト申シマスガ、

左様ナ關係モアリマスシ、農耕ノ方法ト云フコトモアリマスノデ、各方面カラヤツテ

行カナケレバナラスト思ツテ居リマス、先ヅ社會立法的ノ施設トシテハ今申上ゲタヤ

ウナモノガアリマス

○小田委員 私ハ朝鮮ニ現行サレテ居ル所

ノ最モ惡ナルモノトシテ、土地制度ヲ取上ゲルコトガ出來ルト思ヒマスガ、此ノ土地

制度ヲ改廢スルコトニ依ツテ、朝鮮ノ大多

數ノ同胞ヲ完全ニ日本同胞トシテ、總督ノ

政治ニ對シ、又日本ノ政治ニ對シテ心カラ感恩セシムルコトガ出來ルト思フノデアリ

マス、此ノ點ニ付テ十分ノ御努力ヲ御願致シタイト思ヒマス

○菊池委員長 小田君、時間ガ無クナリマ

シタカラ、又他ノ機會ニ願ヒタイト思ヒマ

ス

○小田委員 ソレデハ是ダケニ止メマシテ、

又後日御伺致シマス

○菊池委員長 是ニテ質疑ハ全部終了致シ

マシタ、是ヨリ討論ニ入リマス——森下委

員

○森下委員 討論ニ入ルニ先ダチマシテ、

幸ヒ拓務大臣ガ御見エニナツテ居リマスカラ、御聽シタイコトガアリマス、ソレハ吾

吾ガ討論ニ當ツテ賛成ラシテ色々意見ヲ述ベタリ、希望ヲ述ベタリ、又ハ附帶決議ヲ

附ケタリ致シマシテモ、此ノ種委員會ハ常ニソレヲ聽流シノ狀態ニ置カレテ、委員會

ノ面目ニ關スルヤウナコトガ随分アル、例ヘバ其ノ卑近ナ例ヲ舉ゲルト、昨年ノヤハ

リ拓務關係ノ委員會デ、我黨ノ木原君ト政友會ノ葉梨君トニ依ツテ出サレタ三箇條ノ

決議ニ希望條項モ、私共ハ一向ドウナツテ居ルカ何ツテ居ナイ、無論本案ニハ賛成

デ、今急イデ通スノデアルガ、之ヲ賛成シ

テ今通スニ先ダツテ、八田拓務大臣ノ御言葉ヲ伺ツテ置イデカラ、私ハ之ニ賛成ラシ

タイト思ヒマス

○八田國務大臣 前年ノ議會ニ於キマシテ、

三箇條デゴザイマシタカ、拓務省關係ノコトニ付キマシテ御希望ガアツタノデアリマ

ス、一々ソレハドウ云フコトデアツタカト云フコトハ、茲ニ時間ガアリマセヌカラ申

上ゲマセヌガ、是等ノ問題ニ付キマシテハ、

從來拓務省ニ於キマシテハ、議會ニ於ケル所ノ御發言ニ關聯シテ居ル所ノ御希望等

ハ、關係ノ向キニ必要アルモノハソレノ通達ヲ致シマスト共ニ、拓務省ニ於テモ、

是ガ御希望等ニ付キマシテハ十分尊重ヲ致シマシテ、事務ヲ執ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、今後トモ只今御指摘ノ點ニ付キ

マシテハ、十分拓務省トシテ遺憾ナキヲ期シタイト考ヘテ居リマス、左様御諒承ヲ願

ヒマス

○葉梨委員 森下君ノ發言ニ關聯シマシテ發言致シタイト思ヒマス、只今拓務大臣ヨ

リ、昨年度ノ植民地關係委員會ニ於ケル決議ニ警告ニ對シマシテ、前内閣同様ノ責

任ニ於テ之ヲ實行スルコトヲ言明サレマシタ、唯此ノ際ニ私ハ、昨年度ノ三箇條ノ決

議ニ對スル政府ノ監督サレタ所ノ實績ヲ、

後ノ機會デモ宜シウゴザイマスカラ、之ヲ解明セラレンコトヲ御願シテ置キマス

○八田國務大臣 後ノ機會ニ於テ申上ゲタ

イト存ジマス

○菊池委員長 森下君

○森下委員 私ハ立憲民政黨ヲ代表致シマシテ、此ノ度ノ朝鮮私設鐵道補助法中改正

法律案、朝鮮鐵道株式會社所屬金泉慶北安東間鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

外一件ニ對シマシテ、贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス、御承知ノ通り此ノ中ニ於キマ

シテハ、各自色々意見ガアリマシタガ、其ノ根本デアル所ノ朝鮮ノ最モ重要ナ地方

鐵道ヲ國有ニシ、一元化スルト云フコトニ付テハ、全部ノ希望デゴザイマスカラ、サ

ウ云フ所ニ重點ヲ御置キ下サイマシテ、産業上、國防上重要ナ問題ニ付テ今後ノ實績

ヲ舉ゲラレタイ、例ヘバ志願兵制度ノ如キ、教育令ノ改正ノ如キ、色々ニ成績ヲ舉ゲテ居

ラレル朝鮮當局デゴザイマスカラ、ドウゾモウ一段ノ努力ヲ以テ、此ノ後ノ經營ニ當

ラレンコトヲ希望致シマシテ、簡單ニ本案ニ贊意ヲ表スルノデアリマス

○田中委員 田中君

○田中委員 私ハ立憲政友會ヲ代表致シマ

シテ、朝鮮事業公債法中改正法律案外二件ノ法案ニ賛意ヲ表スル者デゴザイマス、併シナガラ先日來數回論議ニナツテ居リマシタ朝鮮事業中、主トシテ交通ニ關係致シマスル事業ノ施設若クハ計畫ヲ承ツテ居リマスルト、洵ニ手緩イモノガ多イノデゴザイマス、殊ニ地方鐵道ヲ國有ニ買收セラレテ、一元化ノ下ニ經營スルト云フコトハ、政府ガ屢、御聲明ニナツテ居ル所デアルニ拘ラズ、今回漸ク一線ヲ御提案ニナツタト云フヤウナコトデ、吾々ノ希望ガ達セラレテ居ナイト云フコトヲ頗ル遺憾ニ存ズルノデゴザイマス、デゴザイマスルカラ、私ハ今後總督府ガ、鐵道ハ勿論ノコト、道路或ハ港灣、治水ト云フヤウナ事業ニ關係シマシテ、根本的ノ計畫ヲ立テラレマシテ、朝鮮ノ産業開發ニ力ヲ盡サレルコトヲ希望スルト同時ニ、私設鐵道デアリマシテ、未ダ買收セラレテ居ナイト云フ鐵道ニ對シマシテハ、屢ノ御聲明ニ從ヒマシテ、今回御提出ニナリマシタ補助法ノ補助期間中ニ必ズ政府ガ買收セラレテ、國營トセラレルヤウニト云フ希望ヲ附シマシテ、本案ニ賛意ヲ表スル次第デアリマス

○菊池委員長 鈴木君

○鈴木委員 私ハ社會大衆黨ヲ代表シテ、

極メテ簡單ニ本案ニ對シテ贊成ノ意ヲ表シタイト思フノデアリマス、過日來ノ質疑應答ト云フモノハ、悉ク吾々委員一同ガ朝鮮ヲシテモツト良イ國タラシメタイ、モツト良キ意味ニ於テ、兵站基地デアリ、大陸ノ棧橋デアル所ノ使命ヲ全ウセシメタイト云フ意味デ質問シタノデアルト思フノデアリマス、私ハ此ノ意味ニ於テ朝鮮總督府ヲ今後トモ信賴ヲ致シマシテ、本案ニ對シテハ滿幅ノ贊成ノ意ヲ表スル次第デゴザイマス

○菊池委員長 朴君

○朴委員 私ハ第一議員俱樂部ヲ代表致シマシテ、本案ニ對シテ贊成ヲ表シタイト思フ者デアリマス、ソレニ付テ一言申上ゲタイコトハ、是ハ朝鮮事業公債法デアリマシガ、私ハ朝鮮デ生レタ一人トシテ、本委員會ノ委員ノ方々ガ半島ニ對シテ、日本ノ領土トシテ重要視シテ居ラレルト云フコト、又最近半島ニ對シテ非常ニ認識シテ居ラレルト云フコトヲ非常ニ愉快ニ思ツテ居ルノデアリマス、此ノ點委員長初メ今日御出席ニナツテ居ル委員ノ皆様ニ對シテ厚ク御禮ヲ申上ゲル次第デアリマス、無論朝鮮事業公債法案ニ對シテハ、私共トシテハ無條件デ贊成スル一人デアリマス

○菊池委員長 小田君

○小田委員 私モ只今御提案ニナツテ居ル法案ニ對シテ贊意ヲ表シマス、唯一言申上ゲテ置キタイコトハ、各委員ニ依ツテ述ベラレマシタ如ク、朝鮮ハ單ニ日本ノ外地デアルニ止マラズシテ、大陸ニ日本民族ガ善キ支配權ヲ擴ゲテ行ク爲ノ重要ナ踏石トナリ、礎石トナル所ノ地步ヲ持ツテ居ル譯デアリマスカラ、其ノ點ニ於テ朝鮮統治ニ對シテハ十分ナ成果ヲ擧ゲ得ラレルヤウナ諸方策ヲ、斷乎トシテ御遂行アリタイト願フ者デアリマス、只今ノ教育問題ニセヨ、或ハ資源開發ノ點ニ致シマシテモ、色々ナ關係ニ於テ十分ニ其ノ總力ヲ發揮シ得ナイ狀態ニアルト考ヘラレルノデアリマス、其ノ點特ニ御願ヲシテ贊意ヲ表スルモノデアリマス

○菊池委員長 是ニテ討論ハ終局致シマシタ、採決致シマス、朝鮮事業公債法中改正法律案、朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案、朝鮮鐵道株式會社所屬金泉慶北安東間鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案、此ノ三案ニ對シ採決致シマス、此ノ三案ヲ一括シテ贊成ノ方ノ御起立ヲ願ヒマス

〔總員起立〕

○菊池委員長 起立總員、仍テ全會一致三案トモ可決セラレマシタ(拍手)暫時休憩致シマス

シマス

午後四時二分休憩

午後四時四分開議

○葉梨委員長代理 休憩前ニ引續キ開會致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス、次會ハ公報ヲ以テ御通知申上ゲマス

午後四時五分散會